



取締役頭取 高田 紘一

ごあいさつ

皆さまには、平素より格別のご愛顧をいただき、誠にありがとうございます。

日本経済は、戦後最長の「いざなぎ景気」を更新し、本年も緩やかながら着実な成長が展望できるようであります。

さて、当行は平成10年の「自己革新」以来、毎年、しがぎんグループ全員の気合を揃える新年のキーワードを定め、10年目の節目となる今年は「貫徹」といたしました。一昨年の「価値」、昨年の「進化」を引き継ぐもので、3つの「貫徹」に全役職員が一丸となって取り組んでまいります。

「貫徹」の第1は、「目標の貫徹」です。個々人の自己実現の目標を貫徹し、業務計画目標の必達に努めます。

第2は、銀行経営の近代化に向けてこれまで着実に積み上げてきた「初志の貫徹」です。とりわけ今年3月末から実施される「バーゼルⅡ」(国際的な統合リスク管理の基準)での「基礎的内部格付手法」の認可を目指し、自己責任経営を貫徹することです。さらに、昨年末に完成した新事務棟に次期基幹系システムを導入し、当行独自のIT戦略を貫徹することです。

第3は、「共存共栄」理念の貫徹です。今年1月、他行に先駆け地道に取り組んできた当行独自の環境経営が評価され、総合ビジネス誌「財界」から半世紀の伝統を有する『経営者賞』を受賞する栄に浴しました。素直に全役職員と喜びを分かち、地域の皆さまと認識を共有し、CSR(企業の社会的責任)の充実にオールしがぎんグループあげて努力してまいります。

どうぞ、変わらぬご支援、ご愛顧をお願い申し上げます。

平成19年1月

取締役頭取

高田 紘一